



HP: <https://www.tagawa-kenrou.or.jp>
E-mail: tagawa-kenrou@tagawa-kenrou.or.jp

HP



E-mail

発行所

＝ 全建総連加盟 ＝

田川建設労働組合
教宣文化部山形県鶴岡市大塚町26-13
電話 (0235) 22-2832
FAX (0235) 22-3370

発刊に寄せて

執行委員長
関 寛

長引くコロナ禍に予期せぬ戦争、物価高とストレスが重なる生活が続いています。組合員の皆様には、ご健勝にお過ごしでしょうか。これから本格的な夏に向かい、熱中症にも十分注意をしながら仕事に頑張っていきましょう。

去る二月二十日に行われた第六十七回定期大会の役員改選において、執行委員長に私と七名の執行委員、三名の監査委員が選任されました。私が執行役員になった十年前は二千名近くだった組合員数も一五〇〇名台に減少してきました。本部ではその間、事務職員の名減、執行委員の二名減、各種事業の見直しと廃止等、予算執行の削減に努める一方、築後四十年が経ち、経年劣化が激しい組合事務所の補修と塗装、トイレや消雪設備の改修等を行ってきました。また、コロナ禍の影響で組合活動の中止や他団体との交流の停止、全建総連等の上部団体との活動が中止やパソコンでのリモート会議となったため、行動費が大幅に縮小されました。定期大会では、発生した余剰金を組合員に還元することが承認され、この新聞が発刊される頃には皆さんのお手元に商品券という形で届けられると思います。

第10回

赤ちゃん誕生おめでとうございます

廣井

日 翼さん
和さん
岳くん

(令和四年一月四日生)

今回紹介させて頂くのは、廣井翼さん(藤島支部・大工)ご家族です。



翼さんは、父親の下で経験を積み、訓練校で学び、現場で汗を流す日々を過ごしております。

お二人の出会いは、翼さんのお母様と日和さんの職場が一緒で、自宅の上棟式の際に知り合い一年余りの交際を経て結婚、そして今年一月に岳くんが誕生いたしました。頂、てっぺんを目指すスケールの大きい男になって欲しいとの願いを込めて名付けられたとの事です。

翼さんといつも素敵な笑顔を絶やさない日和さんに育てられる岳くんの未来は光輝いています。

健やかな成長をお祈りいたします。取材協力、ありがとうございます。

(記:教宣部 新聞 辰夫)

建設産業を取り巻く社会情勢は厳しさを増していますが、全建総連では資材高騰の解消、安定供給、賃金アップの環境づくりを国に要望しています。インボイス制度については税対部を中心に講習会が検討されています。アスベスト飛散防止対策では講習会の開催が遅れているため、資格取得が難しくなっています。組合では情報を発信していきますので、仕事確保に活用をお願いします。

様々な社会情勢の変化に伴い、組合の新たな課題も生じてきますが、役員、青年部、主婦の会、事務局一丸となって対処して行きますので、組合員の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

第67回 田川建設労働組合 定期大会

令和四年二月二十日、第六十七回田川建設労働組合定期大会がグランドエル・サン「クリスタルホール」を会場に開催されました。

収束が見えない猛威を振るう新型コロナウイルスの影響のため、昨年より一層の縮小開催のため、昨年、一昨年と好評をいた

だいておりました安全祈願祭は取りやめ、



▲感染対策をしながら開催

ご来賓をお招きすることでもできず、大変寂しい状況での開催となりました。代議員は、定数一二二名中二十七名の出席、八十八名の委任状出席、合計一一五名で成立要件を満たす人数に減らし、感染防止対策として、三密を避けるとともに検温、手指消毒、出席者全員マスクを着用しての開催となりました。

例年であれば午前中からの開催ですが、昨年同様、午後一時に今野秀逸大会準備委員長の進行により、物故者への黙祷が行われ、大会役員が選出されました。資格審査委員長より代議員定数

が報告され、大会成立要件が確認されました。議事日程の承認後、副執行委員長より開会が告げられました。川上執行委員長の挨拶の後、皆川鶴岡市長の祝電が披露され、コロナ禍のため全国建設労働組合総連合から来賓を招いての本部報告は行われず、本部から届いたメッセージが紹介されました。

議事に入り、第一号議案の令和三年度経過報告・決算報告・監査報告の議案が提案、財政部長にお願いがあり、来年から活かしていきたいとの答弁の後、承認されました。

休憩後、第二号議案の全建総連厚生協会田川支部規約の改正案が提案され、建退共の早見表についての質問の説明の後、承認され、第三号議案の労働保険事務組合規約の一部改正案も承認されました。

第四号議案の令和四年度運動方針・予算案が提案され、予算案についての質問があり、コロナ禍の為、執行委員会により良い方向にと返答し、『組合員』とはの質問があり、執行委員長、副執行委員長の答弁の後、執行委員会十分検討して良い方法にして下さ

ることを望まれて質問が終わり、承認されました。第五号議案の令和四年度一時借入限度の議案が提案され、承認されました。

役員選挙が行われ、執行役員に鶴岡地区協議会から関寛氏、佐藤晃氏、今野秀逸氏、東田川地区協議会から五十嵐恵治氏、佐藤力氏、佐々木博良氏、西田川地区協議会から和田吉和氏、佐藤三郎氏の八名、監査委員には芝田光明氏、富樫正志氏、佐藤新喜氏に決まりました。新三役は、執行委員長に関寛氏、副執行委員長に和田吉和氏、佐藤力氏となりました。演壇の前に並んで就任の挨拶を新執行委員長が行い、その後、大会スローガンが読み上げられ、議長団が解任されました。

表彰式では、令和三年度純増拡大報奨、ハガキ要請運動連続百%達成褒賞、令和二年度建設国保特定健診受診率七十%達成報奨の後、特別表彰が行われました。表彰者は、令和三年十一月二十日「伝統的技能者表彰」を受賞された長谷川静夫氏（上郷）と令和三年十月二十九日に「木造建築伝承の匠」を受賞された今井良弘氏（立川）です。



▲退任の挨拶を行う川上前委員長

令和三年度純増拡大報奨、ハガキ要請運動連続百%達成褒賞、令和二年度建設国保特定健診受診率七十%達成報奨の後、特別表彰が行われました。表彰者は、令和三年十一月二十日「伝統的技能者表彰」を受賞された長谷川静夫氏（上郷）と令和三年十月二十九日に「木造建築伝承の匠」を受賞された今井良弘氏（立川）です。

令和三年十一月二十日「伝統的技能者表彰」を受賞された長谷川静夫氏（上郷）と令和三年十月二十九日に「木造建築伝承の匠」を受賞された今井良弘氏（立川）です。

和田副執行委員長の閉会の挨拶で全日程を無事終了しました。

第六十八回の定期大会は、新型コロナウイルスが収束し、安全祈願祭を執り行い、たくさんの方の御来賓の方をお招きし、代議員定数は削減することなく、盛大な大会になる事を希望しています。

（記・教宣部 新聞 辰夫）



▲演壇の前に並んだ新役員

建設国保通常組合会

副執行委員長 和田 吉和

令和三年度二月通常組合会
が、去る二月二十八日、二十九名（内、田川七名）の出席で、けんせつプラザ山形を会場に開催されました。

保険料の改定等について、当国保組合においては、保険給付の水準を一定に維持するため、国庫支出金（補助金等）の減額や被保険者数の減少等に伴う収入減などを補う目的で、平成二十六年度から令和二年度までは、毎年度財源確保のため、保険料値上げ等を行いながら、安定的な財政運営に努めてきました。新型コロナウイルス感染症による様々な影響が不確実で、予測



▲全体の様子

できない部分が多い状況が続いている中にあるのは、現段階において、皆様方に保険料の値上げをお願いしなければならぬ状況にあるとまでは言い切れないものと考えており、令和三年度と同様、令和四年度の保険料についても基本的には全て現行のまま据え置くこと（一部を除き）となりました。

組織体制については、各支部の組織体制やあり方などについて検討会議を進めてきました。令和四年度は三年間で支部交付金を十五%減らす最後の年です。検討会議では、支部運営に係る令和五年度からの新しい交付金制度について合意に達しました。今後は各支部等において、持続可能な組織展開を図っていくための具体的な見直し方策などについて検討を加速することになります。結局、各支部への交付金が減り、運営が厳しくなる支部が出ると思われます。

第61回 県連定期大会

労働対策部長 今野 秀逸

令和四年四月二十一日、第六十一回山形県建設労働組合連合会定期大会が天童温泉「天童ホテル」で行われました。今年度の大会もコロナ禍の影響で参加者を縮小し、分科会が行われず、半日日程の大会となりました。田川からは九名の参加、全体では七十四名の参加人数でした。

田川の川上清太郎さんの開会の挨拶に始まり、第六十期の経過報告、決算報告、会計監査報告が行われ、質問等無く承認されました。

休憩後、第六十一期運動方針案、予算案が提案され、私

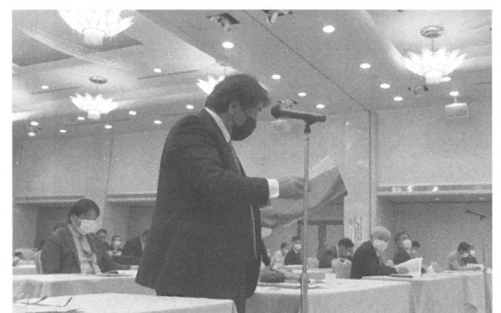


▲開会の挨拶の様子

が質問をしました。一般建築針案、予算案が提案され、私
物石綿含有建材調査者講習について、現在の県内の講習はどの様な状態なのかということとです。それに対し、佐藤委員長は今年度七月まではいっぱいなので、九月以降の講習会に申し込んで下さいということでした。（注：現在、年度内の講習は全て定員に達し、募集停止状態です。）又、県連で講習会が開催できないか建設業災害防止協会へお願いしているとの事でした。もう一つは、酒田の組合より、行動旅費の予算が大きい、コロナ禍で活動が出来るのか、また繰越金が増えるのではないかとという質問に対し、書記長よりコロナが収まり、これまでの活動ができる事を見据えて予算化したとの返答でした。又、けんせつプラザの屋上の防水工事、全建総連会館の建設費の追加が予想されるので、各組合への負担を無くし、県連からの支出を考えているとのことでした。

尚、今大会に於いて酒田の

関川俊夫さんが県連委員長に選出されました。私は、田川ブロックより会計監査に選出されましたので、頑張ります。



▲質疑の様子

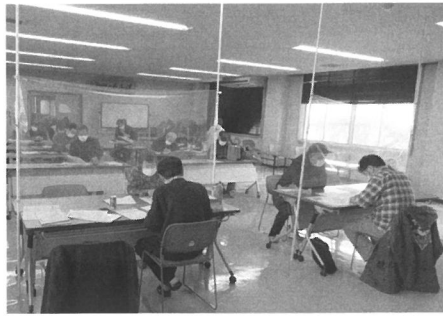
一般建築物石綿含有建材調査者講習 受講希望者募集中!!

30名以上の希望者で開催します。申し込み・問合せは、7月20日(水)まで、田川建労へ。

確定申告書込み相談会

二月二十六日(土)、二十七日(日)に、『住民税・所得税確定申告相談会』を開催しました。今回、これについての原稿依頼を受けて思い出してみました。

私はこの相談会に参加するようになって、早いもので十年になります。最初は不明な事ばかりで、添えるべき書類の不備などもあり、時間ばかり要し、気の重い時期でした。本当に苦痛でした。それでも賃金・税金対策部の方や税理士さんの助けを借りて、ようやく提出する事ができたのを思い出します。忙しさにかまけ、面倒な事は後回しにして、



▲相談の様子

気がつけば数日前という事も度々でした。まずは、悩まずに聞くは一時の恥聞かぬは一生の恥と考え、相談してみようと思ひ、書込み相談会に参加してみました。

パソコンで申告可能な人は何でもない事で、使えない私には手書きしか方法はなく、更に記入場所も分からず、途方に暮れるしかありませんでした。お陰様で今、ようやく少し分かるようになり助かっています。

もう既に相談されている方はさて置き、未だの方は是非、この様な便利な方法があるのを活用して相談してみたらと思います。

これからの関わっていかねければならないので、少しでも短時間で済ませたいと思います。関係者の方も大変ですが、力を貸して頂きますよう、よろしくお願いいたします。自然災害等との戦いの中、更に新型コロナウイルス、気の休まる日がない今日この頃です。でもあと少しだと信じて、それぞれが健康に気を付けて頑張りたいと思います。

(記・教宣部 上野 賢吉)

三町二村申入れ行動

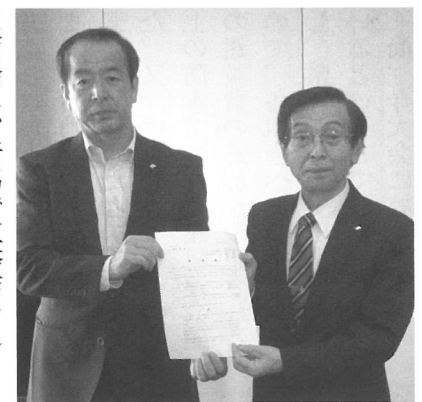
賃金・税金対策部長 佐々木 博 良

ゴールデンウィーク中の五月二日、執行三役と共に三川町、庄内町そして大蔵村の役場を訪れ、各首長にお会いして参りました。先方様は、昨年と同じ顔触れの為、和気あいあいとした中、表敬訪問および面談は進みました。

各首長へは、関執行委員長から申入れ書の伝達と写真撮

影、その後、職業訓練校への補助金増額の謝意を伝え、私達の置かれた現状とアスベスト問題やインボイス制度などの課題について、そして各町村の抱える問題や私達の組合に対する思いについて話し合いました。

最初に訪れた三川町では大井支部長と合流して阿部町長



▲庄内町町長と

に面会し、新潟で工務店をしている娘婿の苦労話、そして町内業者の若者も様々な問題に對し、連携をして頑張っているとお話して頂きました。

その後、訪れた庄内町では、余目、立川の両奥山支部長と共に富樫町長はじめ樋渡副町長、佐藤建設課長と対面し、県費を含みリフォーム助成金も庄内町については町内業者に限られている処に、我々建築業者に対する手厚い保護を感じられました。

昼食を挿み、本日最後の訪問地、大蔵村へ舟下りを眺めながら向かい、土田支部長の案内で加藤村長と対面しました。村ではリフォーム補助について若者移住だけでなく、現村民を第一に補填するこ

とで人口減少の歯止めにしたい、村内住宅団地では約百坪程度で三五〇万円台の七区画が三十分余りで完売したそうです。そして、近く予定の役場新築工事においては、村内業者を優先すると有り難いお言葉を頂きました。帰りに、村の事業の水力発電について説明して頂き、役場を後にしました。

結びに、地元で働く我々職人組合は、行政機関と共に若手育成、賃金含め地位向上を目指して、連携をさらに深めて行かなければと改めて思えた申入れ行動でした。

各町村関係者の方々にはこの様な機会を与えて頂きましたことに、書面をお借りして御礼申し上げます。



▲三川町町長と

鶴岡市申入れ行動

副執行委員長 和田 吉 和

昨年十二月十三日、鶴岡市長に申入れ行動を行いました。組合から、川上執行委員長、

関、和田副執行委員長、佐藤財政部長、村山事務局長が出席しました。市からは皆川市長、村上建設部長、坂井建築課長が出席しました。

申入れ事項は、①市の産材・施工業者を活用した住宅リフォーム支援補助金制度、空き店舗解消リフォーム事業補助制度を始めとするリフォーム支援事業を継続、発展して頂きたい。②市発注の公共施設の建設などにあつては、若者が安心して入職できる単価、末端労働者まで行き渡る方法において、田川建設労働組合の組合員を始めとする地元建設技能者を活用されますよう御配慮を賜りたい。③若手建築技能者育成のため、庄内職業高等専門学校への庄内市町村会による法令外負担金の継続、要望額満額負担をお願いしたい。④令和四年二月二

十日開催の当組合第六十七回定期大会にご臨席を賜りたい。と要望書を市長に手渡ししました。

市側の返答として、皆川市長より皆様には大変お世話になっていきます。と挨拶を述べられ、最初に④定期大会には出席させて頂きたいという返答を頂きました。①から③はいずれも重要な事項であるとして、①リフォーム支援事業では鶴岡市も努力している。三三三件申請を頂いた。八千二百万円決定（県三千二百万円・市五千万円）事業者別では、株式会社一四七件、個人事業者八十九件。来年の県予算は今年並みと聞いているの



▲鶴岡市長と

で、市の方も努力する。②市発注の公共施設の工事については、来年度からは週休二日制のモデル事業を実施する。工期も長く取りたい。五十万円以下の小規模工事は一五〇

者が登録、昨年は三千万円、今年も同程度の見込み。③若手建築技能者育成では、商工課を通して予算申請している。若手育成は重要課題だと認識している。との回答を頂きました。

和やかな雰囲気の中、懇談、申入れが行われました。皆川市長、これからは田川建設労働組合にご協力の程、よろしくお願いいたします。

主婦の会総会

主婦の会会長 佐々木 智 美

今年もコロナ感染拡大の状況下でしたが、お陰様で予定通り三月十三日に第四十二回「主婦の会総会」を田川建労の講堂にて開催することができました。

総会には、関執行委員長にご出席頂き、活動報告、収支報告、新年度の活動予定案と予算案、役員体制を確認し、



▲全体の様子

し合い、七月三日にフラワーアレンジメント講習会を開催することに決めさせて頂きました。七月の初めといえば梅雨時ですので、爽やかな気分にしてくれるようなお花のアレンジを教わり、ご参加下さる皆さんにも喜んで頂けたらと思っています。

秋の研修会の内容は未定ですので、ご希望や情報を教えて頂けると大変ありがたいです。

楽しみながら交流を深めていきたいと思っていますので、これからも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

今は、できることが限られて中々難しいですが、今年度も主婦の会は、新型コロナ感染症対策を万全にし、工夫しながら活動していきたいと思っています。コロナ前まで、毎年開催していた健康管理学習会（料理講習会）は残念ながら行えない状況ですので、役員会で話



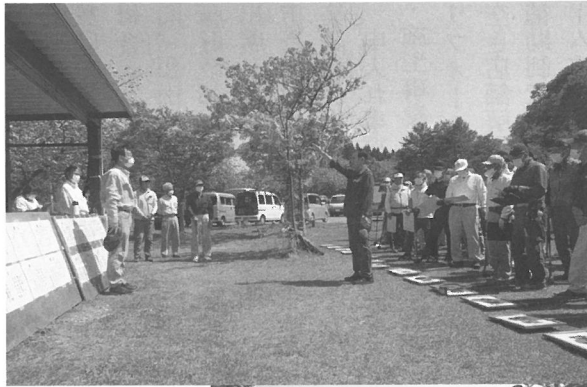
▲挨拶を行う佐々木会長

第26回 グラウンドゴルフ大会

組織対策部長 佐藤 力

五月二十九日(日)五月晴れの中、百名の参加者に恵まれて、グラウンドゴルフ大会を開催しました。和気あいあいとプレーをしている姿は、とても楽しそうでコロナ前に戻ってきた感じがしました。熱中症対策で、プレー中はマスクを

▶選手宣誓の様子



▶晴天の下、プレーを楽しむ参加者



外しても良いと伝えましたが、皆さんマスクをしたままプレーをしていました。当日は強めの風が吹いていたため、熱中症の心配もなく過ごす事が出来ました。

試合結果をお伝えします。

*男子の部

一位 菅原 功(板金)	三十八打
二位 鈴木 幸一(藤島)	三十八打
三位 渋谷 清治(櫛引)	三十九打

*女子の部

一位 今野 恵子(上郷)	五十一打
二位 伊藤 純子(山戸)	五十一打
三位 川越 正子(建具)	五十三打
ブービー賞 伊藤 菊子(山戸)	六十五打
ブービーメーカー賞 高橋 英機(板金)	六十六打

でした。

プレー中も歓声があまり聞こえず、ホールインワンがあまり出ないのかなと思っていたら、ホールインワン賞贈呈の時は沢山の受賞者がいてびっくりすると共に、皆さんの真摯にコロナ禍での相手の方を思いやる心に感動した大会でした。
本当にありがとうございます。

就任の御挨拶

副執行委員長 佐藤 力



皆様、組合員の皆様の御協力をお願いしながら、外部での行事は行っていると思っています。

執行部も執行委員の人数削減のため大変ですが、頑張っていると思います。今年度は、コロナ前に戻して行事を行っていききたいと思っています。

何分、力不足ですので皆様の叱咤激励を頂きながら副執行委員長を努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



親子二代

第58回

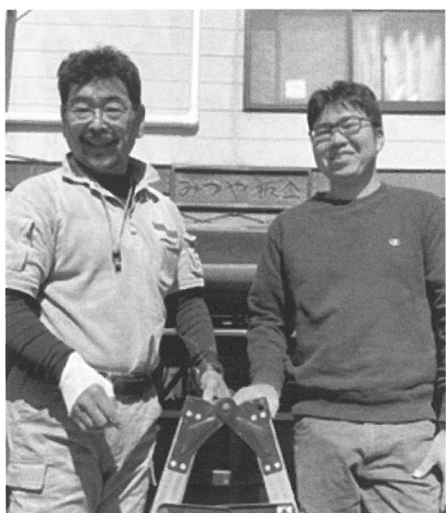
余目支部

佐々木

ひろよし
博良さん(61歳)
りょうすけ
良介さん(29歳)

田川建労より国道旧七号線を北に進み、右手に月山、左手に鳥海山と風光明媚な田園地帯をぬけ、松山方面に向かったところで板金業を営んでいる佐々木さん親子を訪れ、取材して来ました。

田川建労で執行委員(賃金・税金対策部長)を務めている父親の博良さんは、酒田市生まれで、高校を卒業後、板金業を営んでいた父親に師事し、地元の工務店やハウスメーカー等の仕事を請け負っていました。平成元年に佐々木家に婿養子に入り、平成七年、一人息子の良介さんの誕生を



▲笑顔で肩を並べる佐々木さん親子

技能士試験にトライする為、日々、努力をしているそうです。なかなかの好青年です。早く伴侶をみつけて初孫を、と博良さんは願っていました。

博良さんの奥

機に独立し、みつや板金を立ち上げました。博良さんは海育ちではあるが山がとても得意で、春になると好きなバイクで温海の温海川地区にある一本木わらび園や最上川土手に出かけての山菜取り、秋には月山にも出かけて紅葉狩り、時にはバイク仲間とツーリングと趣味が多彩です。

息子の良介さんは高校卒業後、関東の大学に進みましたが、みつや板金を継ぐため実家に戻り、博良さんと二人三脚で働いています。良介さんは昨年、酒田の訓練校に入校して、今年は板金二級

支部・分会だより

加茂分会 分会長 村上 寛

今回は、加茂分会の紹介をさせて頂きます。

加茂といえば最初に思い浮かぶのは、加茂水族館かと思えます。連休中や夏の盆の時期など、入場整理券を配布し時間調整しなければならぬ程に賑わっています。

水族館だけではありません。令和元年には日本遺産「北前船寄港地、船主集落」の追加認定を受け、加茂歴史探訪マップを作り、地区としてPR

様、智美さんは長年に渡り余目支部の主婦の会役員を務め、現在は田川建労主婦の会の会長を務めています。田川建労街宣カーのウグイス嬢でもあります。元はバスガイドをしていたそうなので、昔取った杵柄でしょう。

夫婦は共に建労の重責を担っており、とても実直な一家でした。大変忙しいところご協力いただき、ありがとうございます。

(記・教宣部 佐藤 三郎)



▲包丁研ぎを行う組合員

しているところです。今では少なくなりましたが、分会のルーツと言っても過言ではない様な、先人の魅せる為の匠の技が凝縮された建物(扇垂木を配した遊郭)があったと記憶しています。分会としての結成においては、昭和二十一年に三十名程の先輩の方より、活動を開始されたのが始まりの様で、昭和五十七年には最大六十四名

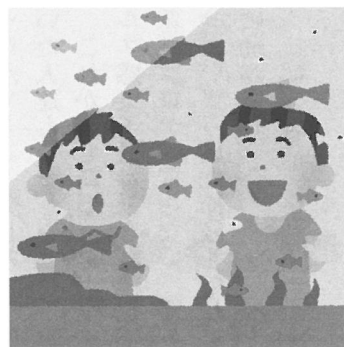
を数える程の分会でした。「あれから四十年」ではないですが、人口の減少、流出に加えて、後継者がいないのが現実です。そんな中でも、住宅デ―活動時には協力を頂き、地域の方々と和気あいあいとおります。

田川建労の中でも、下から数えた方が早い位の少人数分会になりましたが、もう少し頑張っていきたいと思っています。



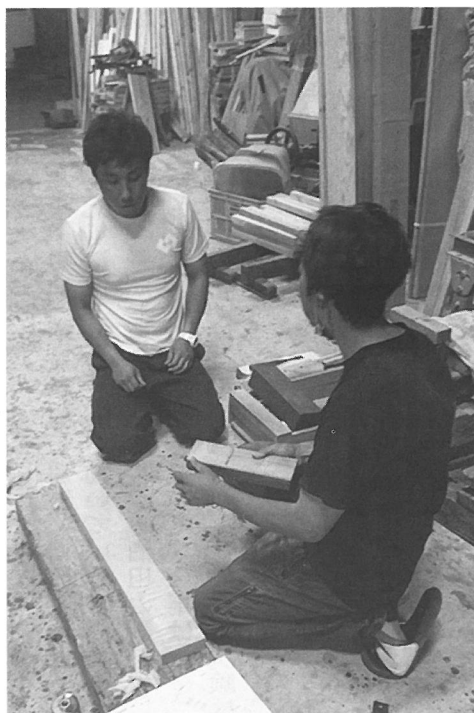
加茂歴史探訪マップ
は鶴岡市加茂地区自治
振興会ホームページか
ら見る事ができます。
ぜひ、ご覧ください。

<https://yamagata-kamo.jp>



青年部 技能競技練習会

青年部部长 渋谷 真



▲真剣に取組む山本さん(右)と廣井さん(左)

今年度の技能競技大会に向けた練習会は、廣井翼さん(藤島支部)の参加で、四月から感染症対策をしながら練習会を始めています。講師に山本豊明さん(鶴岡支部)を迎え、四月は組合棟で図面の練習から行い、五月中旬には延味さんの作業場で製作の練習をしています。練習も始まったばかりなので、これから応援していきたいと思っています。

七月三十一日に県大会を行い、九月には群馬県で全国大会が行われる予定です。ぜひ全国大会に出場し、入賞を目指してもらいたいと思います。

今年度も青年部で協力し合い頑張っていきますので、新しい選手の参加も含め、皆様からの応援の程、よろしくお願い致します。



おまかせ事業者名簿登録

組合では、仕事確保・元請工事の受注促進を目指して、一般住民の方向けに事業者名簿を作成しています。組合には様々な職種、技能を持つ組合員が加入していますが、個人では安価で広告宣伝を行うことがなかなかできません。名簿には『住宅関連の事なら何でも地元職人におまかせ下さい』と銘打ち、事業者名(一人親方含む)、業種、連絡先、ホームページやEメールアドレス、三十文字程のコマーシャルメッセージ、冬場の除排雪の可否が掲載されています。

・掲載料 年間一千元
作成した名簿は組合に備え付け、住宅デーや各種イベントが開催される時に配布して広報します。

組合では、古くなったホームページのリニューアルを行いました。名簿を掲載し、スマートフォンでも閲覧できるようにしました。

コロナ禍でIT技術がますます盛んになっている現在、少しでも組合員の皆さんの仕

事確保につながるよう多くの方の登録をお願い致します。
詳しくは組合へお問い合わせ下さい。

編集談話室

コロナ禍も二年以上経ち、人が集まっていた行事等も減り、生活スタイルも大きく変わりました。今までは組合活動にも各界、各方面から多くの人が参加して活動を盛り上げて頂きましたが、現在はリモート会議や人数制限で人が集まるといふ事が減り、寂しく感じる事も多くなりました。やはり、人と人が直接会って親睦を深めていくことが大事な事だと痛感しております。

また三回目ワクチン接種も進み、感染者数も減少しているものの、未だ収束するまでは至っていません。昨年と一昨年は自粛、自粛の大型連休でしたが、今年は緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の発出が無く、三年ぶりに行動制限が解かれた連休でした。なかには十日間も休みの取れるところもあり、他県ナンバーも増え、遠く離れた家族、親戚、友人、孫と久しぶりに会う事ができると楽しみにしていた人達もいました。

これからの新型コロナウイルス感染症予防対策を継続し、新型コロナウイルスに罹らない、罹らせないよう周知徹底して仕事に励みましょう。

(記・教宣部 佐藤 三郎)



▲2022年版は組合窓口、HPでどうぞ